

私が住みたい30年後の寒河江市の姿 6年：鹿間梨花

私が30年後に住みたい寒河江市の姿は、いろいろな人が楽しめて、作物などの食べ物おいしくて、みんなが協力し合える寒河江市です。

今、私が寒河江市に感じていることは、クラッピンサガエができて、子どもの遊び場ができたことはとてもうれしいことだけれども、お年寄りの方が楽しめる場所が少ないのではないかということです。

また、寒河江で作られる作物もおいしくて、地産地消もすれば農家の方も笑顔になれて、作物を食べる私たちも笑顔になれるからよいのではないかと思います。

そこで、私が思いついた案が2つあります。

1つ目は、お年寄りや観光客の方が楽しめるような施設を建設して、人口や観光客の方を増やすということです。

例えば、花があって、体操やヨガ、ゲートボールなど、お年寄りの方が気軽に体を動かすことができる場所や集まって楽しく会話や食事をできる場所、寒河江の良さや歴史を知ってもらう建物などです。このようなみんなが楽しめる施設があれば、いろいろな人に寒河江市は楽しい所だと思ってもらえるし、大人も子どももみんなが元気に過ごせるまちになると思います。

2つ目は、地産地消をするという案です。寒河江市は、さくらんぼや野菜などおいしいものがたくさんあります。もっと地産地消を増やしていけば、安心して食べ物が食べられるようになると思います。そして、作物を育てて収穫した農家さんも自分が育てた作物をいろいろな方に食べてもらえたら、とてもうれしいと思います。

また、私たちも寒河江市のおいしい作物も食べると自然とうれしい気持ちになり、みんなが笑顔になれると思います。

他にも、別の地域の人たちが困っていたらボランティアなどでおたがい助け合うことも大切だと思いました。そんなやさしい寒河江市になったら、安心して楽しく暮らせると思います。

このように、寒河江市に住む人や観光客の方などが楽しめる場所があったり、おいしく食べられる地産地消が増えたりしたらうれしいです。

私が住みたい30年後の寒河江市の姿は、「いろいろな人が楽しめて、作物がおいしい、協力し合える寒河江市」です。この姿に向かって、今からできるようなボランティア活動などをしていきたいです。寒河江市も人気のある市町村にできるように、自分からできることを探して、がんばりたいと思います。



※8/1 市制70周年記念事業「私たちが住みたい30年後の寒河江の姿」での発表より

令和6年度 ”寒小祭(かんしょうさい)”のお知らせ

期日：10月26日(土) 8:25~11:30(予定)

場所：寒河江小学校体育館 ほか

★お子さんやお孫さんがいらっしゃらない地域のみなさまの席もご用意します。詳しくは、後日、回覧版などでご案内いたします。

<寒小コミュニティ・スクール Web サイト> <https://yanagi-sagae-cs.edumap.jp/>

子どもたちの日々の学校での活動の様子が詳しく紹介されています。また、この「枝垂れ柳」もカラー版で見ることができます。ぜひご覧ください。